

平子町北地内市有地の利活用に係る サウンディング型市場調査 結果概要

1 調査概要

(1) 調査目的

尾張旭市では、「平子町北地内市有地」（旧名古屋市立保育短期大学、旧名古屋市立若松寮、旧名古屋市立緑丘小中学校、旧名古屋市学校給食センターの跡地）の有効活用を検討しています。

今回、サウンディング型市場調査として、民間事業者等の皆様に、参入意向・活用アイデア等についての「対話」を実施し、利活用の可能性を調査しましたので、その結果概要を公表します。

(2) 実施スケジュール

項目	実施日
実施要領の公表	令和7年8月20日（水）
現地見学会	令和7年9月12日（金）・9月16日（火）
サウンディング（対話の実施）	令和7年11月11日（火）・11月12日（水）

(3) 参加事業者数

- ア 現地見学会 14者
イ サウンディング（対話の実施） 9者

2 調査結果の概要

(1) 対話で確認した主な内容

- ・ 売却の方が利活用の可能性が広がるため、ほとんどの事業者が貸付よりも売却を希望している。
- ・ 都市計画法等の規制緩和や北側名古屋市管理用道路の整備がされると、利活用の可能性が広がる。
- ・ 名古屋市近郊で約15.2haの広大な敷地があることが魅力である。
- ・ 既存建物の解体費や造成費が懸念事項である。

(2) 今後の方向性

今回のサウンディングでは、多様な御提案をいただきましたが、内容の具体性に大きな幅があり、今後は、各提案内容とその実現可能性の精査を行います。

令和7年度末までに、市としての当該市有地の利活用の方向性を整理し、令和8年度以降、事業者の公募を行えるよう進めてまいります。

担当 尾張旭市企画部企画課総合調整係
0561-76-8105（直通）